X610-279
0007952294

博物館藏版

教草

第十一

索麪一覽

凡そ日用に供する衣食の如きハ人皆之を衣とし之を食とし何によりて成るを知らさるもの多し其物品を改正良善にするの術に暗く從て新規の發明なく國産を繁殖せしむる各其業に就く事を知らず故に父兄たる者其子弟をして幼時より各業の大畧を知らしむるときハ他日修産の基となるべし嚮に明治六年澳國博覽會出品の際に當り各種職業の教草を編成せしめ畫圖を加へ以て童蒙に便せり然るに舊版第一より第廿四まで八年七月の火災に罹りしにより今之を再刻し兼て從前の謬誤を正し遺漏を補はしむと雖も其圖の舊版を再刻せる者の如きハ鮮明ならざるもあり看者之を恕せよ且我國産の多き此一部の盡すに非ず此餘の如き以て他日に讓る

明治九年二月　田中芳男記

第一 稲米 第二 糖製 第三 養蚕 第四 生糸 第五 樟虫
第六 野蚕 第七 葛布 第八 苧麻 第九 草綿 第十 織緯草木
第十一 索麪 第十二 葛粉 第十三 藍 第十四 青花紙 第十五 製茶
第十六 烟草 第十七 漆 第十八 蒔繪 第十九 蠟 第廿 白村
第廿一 畳表 第廿二 香蕈 第廿三 製紙 第廿四 蜂蜜 第廿五 油
第廿六 臙脂 第廿七 澱粉上 第廿八 澱粉下 第廿九 褐腐 第卅 豆腐

版權所有

教草 第十一 索麪一覧

索麪ハ備後、伊豫、美作、阿波、讃岐、大和、能登、伊勢等諸州の産物ニして五色索麪、平索麪、長索麪、太索麪、白髪索麪など皆諸國ニ輸す其五彩麪ハ紅、藍、黄、柏等の染料を用ひ長索麪、太索麪、白髪索麪ハいづれも其職の工拙と麥粉の良否ニよりて其形状を異ニすれ而已ニて別ニ製法異なるニあらず大抵初夏ニ採收したる小麥をその年の冬ニ至て製造して翌年の夏ニ至て用ゆるものを寒切と称して賞味するものなり近頃夏索麪とふて五月直ニ之を製し用といへども油氣さりがたし味も寒切ニ及ばず今奈良、三重両縣の製法を合せて次ニ示す

まづ此を製するニハ小麥四貫五百匁を以て白粉貳拾貫目を出し此を羽二重の絹ニてふるひ此粉四貫目の中ニ塩七八合水四升を混じ泥とあしらふもの即寒切と為べき物ニて夏索麪ハ水同量ニ塩一升を容るなり何程製するも此分量ニて製すべし

さて右の通りの分量ニて前夜ニ捏合し置たるを翌朝板或ハ莚の上ニて草履を着け是をふミ而後麪棒ニて平圓ニ壓均し厚さ一寸許ニ至るときハ渦の如く左右より截廻し其截初を曳延し別桶の腹ニ巻着るなり此時桶腹と索餅とニ油を塗抹して粘着を防ぐ此油ハ胡麻の油を最上とす若他の油を用ゆる時ハ其味を損す然れども胡麻油を用ゆる時ハ麪縮ミて延がたき故ニ他の油類を用ゆれども味ハ必胡麻油を用ゆるものニ劣れり此を延するニ随ひ次第々々ニ両手ニて捻て漸く細くなりたるとき掛臺ニ貳本の竹管を挿し此ニ巻付け而後風呂桶ニ休め須臾間熟するを待て後之を出し管の端を足ニ踏ヘ両手ニて徐々ニ曳延し再び風呂桶ニ入れ休めおくなり須臾間過て此を出し管の一本を木匡の上桁の穴ニさし他の一本を中桁の穴ニ挿し別ニ竹箸ニて徐々ニ繊縷の相接せざるやう取さばき且壓均し永く延するとき中桁より下桁へ管を移すなり此の如く為して且ツ乾し後竹管ニ着たる處を截除き直ニコハレ板の上ニて庖丁ニて截板を當て適宜ニ截る事なり是を細き青紙ニて束ね或ハ彩色紙ニ包ミ匣ニ納めて賣物とするなり

此を製するニハ晴陰を觀察する尤注意する事なり晴陰ニよりて塩の加減適せざるときハ腐敗ニ傾くことのあり且乾燥の期ニ至て陰雨となるときハ密室ニ火鉢を入れ火力を假りて乾すべし

此を食用とするニハ滾湯の中ニ投じ竹箸ニてよく攪し沸騰両三次して後笊籬ニ移し冷水ニて能洗ひ油氣を去り再び水を換へて後湯ニ入れて先食すると湯索麪と云ひ醬油ニ加減して煮食するを煮麪といひ冷水中ニ置き冷して食するを冷索麪と云共ニ夏月ニ用ゆて餘時ニ用る事は稀なり

醬油ハ木魚を煮出して味をつけ濃淡ハ人の好ミニ任せ辛料ニハ芥子、蕃椒、胡椒、葱白等を用ゆ

又一種乾温飩といふ物あり下総國結城、尾張國知多郡などニて製造し他邦ニ出す物なり其法大抵通常の温飩を製する如く麥粉を塩水ニて能捏合せ切盤の上ニて麪棒ニて延し適宜ニ截て掛竿ニかけて凡半日間乾し匣中ニ貯へ置く事なり結城ニて製するものハ長八寸幅二分六釐厚さ八釐あり

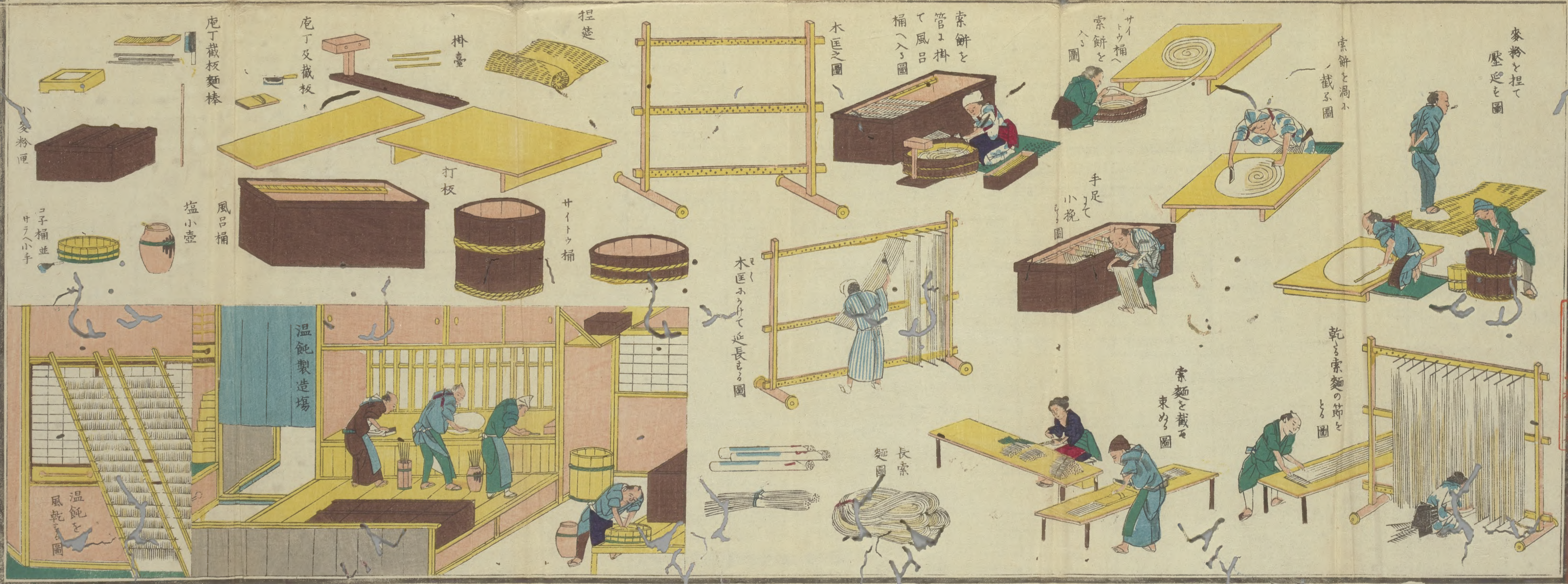
此他栗索麪、薯蕷麪、百合麪、カタクリ麪等あり製法を記せんと餘白なきを以て他日ニ譲る

西洋ニてハ伊太里の名産ニして通例筆管状の者なり之を通心粉（マカロニー）と云ふ又細絲状のもの及ひ星形花形環形等各種の小片となしたるもの等ありて皆堅實ニ乾枯しさせ久しく貯ふべし然るニ日本製のものハ多の塩を混ずる故容易ニ濕氣を引て黴腐し保ち難く貯ふ事能ハず故ニ又外國へ輸出する事能ハず因てハ尚改正して貯へ易き製法ニしさき事なり

氷蕎麥ハ蕎麥粉を以て河漏を製し凍冱せしめて後乾したるものニして久しく貯ふべし信州長野縣下栢原宿より製出す

明治五壬申十一月 丹波修治 述
溝口月耕 畫
明治九年十一月 森頼信 増訂

博物局



B 65992

東京大学総合図書館